

# 離島の振興を促進するための姫島村における産業の振興に関する計画

平成 30 年 5 月 30 日作成

大 分 県 姫 島 村

## 1. 計画策定の趣旨

本村は、四面を海に囲まれた一島一村であり、瀬戸内海国立公園としての美しい景観を誇り、また、周囲沿岸は魚族の宝庫として恵まれた環境にあり、沿岸漁業と車えび養殖を二大産業とする典型的な漁業立村です。

本村は、昭和 32 年に離島振興法、昭和 37 年に辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律、昭和 45 年に過疎地域対策緊急措置法（現在は、過疎地域自立促進特別措置法）の適用を受け、漁港、港湾の整備と漁業資源の保護育成等漁業の振興を図ったのをはじめ、「本土並みの生活」をめざして村民生活の向上と社会資本の充実に力を注ぎ「光」、「水」、「医療」という離島が直面する三つの課題はほぼ解決済みです。

さらに、平成 4 年に着手した下水道整備については、漁業集落排水事業及び特定環境保全公共下水道事業により、平成 10 年 3 月に全村供用開始が実現し、村民の快適な生活環境のより一層の向上が図られています。

近年、我が国の社会経済情勢は、これまで経験したことのないほど変化しています。

本村においても過疎化、少子高齢化や雇用の場の不足、基幹産業である水産業の不振、高度情報化社会への対応、人材の育成等さまざま課題が山積しています。

産業構造は、平成 27 年では第一次産業が 24.7%、第二次産業が 13.7%、第三次産業他が 61.6% を占めています。本村の基幹産業である水産業が漁獲量の減少、魚価の低迷、燃油の高騰、就業者の高齢化に伴う後継者不足などにより大変厳しい状況にあります。

このような課題に対処するため、従来からの「水産業と観光の村づくり」に加えて「姫島村 I T アイランド構想」の推進を図っていくことにしています。

定住の基本は、就業機会の確保であり、若年層の島外流出を改善していくためにも、地域資源を活かした沿岸漁業や車えび養殖、観光の振興に取り組むとともに、I T 企業の進出による雇用の場の拡大を目指していきます。

総人口数

(単位：人)

	平成 22 年			平成 27 年		
	男	女	合計	男	女	合計
総人口数	1,016	1,173	2,189	925	1,066	1,991

(出典) 平成 22 年国勢調査、平成 27 年国勢調査

## 産業構造

(単位:人、%)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業他	合計
就業者数	218	121	544	883
割合	24.7	13.7	61.6	100.0

(出典) 平成27年国勢調査

## 2. 計画の対象とする地区

離島振興対策実施地域・・・姫島村全域

## 3. 計画期間

本計画の計画期間は、平成30年6月1日から平成35年3月31日までとします。

## 4. 対象地区の産業の振興の基本方針

## (1) 姫島村の産業の現状

本村の就業者数は、平成27年では、883人で、平成17年の1,162人から10年間で279人減少しました。

産業別就業者の構成比は、平成27年では、第一次産業が24.7%、第二次産業が13.7%、第三次産業他が61.6%を占めています。さらに、産業分類別で見ると、漁業が23.8%と最も高く、次いで医療、福祉が17.3%、公務が9.7%の順になっています。

農業については、野菜、甘しょ、麦、栗等が自家消費用として栽培されている程度です。

また、大半の農家が零細規模(0.5ha未満)であり、農業就業者については、漁業等を主とした第2種兼業農家です。

平成24年度～平成27年度に「農業体質強化基盤整備促進事業」で達磨地区の約3haの耕作放棄地を整備しました。

林業は、林業就業者がなく山林の大部分は水資源の涵養、魚つき林としての保護、育成を図っています。

山林は松くい虫被害により荒廃が進んでいましたが、被害木の伐採駆除等による防除対策を実施した結果、現在では、被害はほとんどなくなっています。今後も、松くい虫被害対策を継続し、水資源の涵養、魚つき林としての保護、育成のための森林の保全を図ります。

水産業は、本村は離島で、四面を海に囲まれ、沿岸漁業と車えび養殖を二大産業とする典型的な漁業立村であり、村内の経済はこの水産業に大きく依存しています。

周辺海域は、漁業資源に富み、多くの種類の魚が棲息しており、この恵まれた漁業環境をさらにかすため、魚礁の設置、増殖場や築いそ等漁場の整備拡大を図るとともに、漁業生産関連施設(漁港、港湾)、漁業関連施設(蓄養施設、漁船保全修理施設等)の整備を積極的に行ってきました。

しかし、漁船の高速化等装備の近代化や漁労技術の進歩に伴い、漁場の狭隘化や乱獲を招き、漁業資源は減少しています。

さらに漁業環境の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の高齢化、後継者不足等様々な問題が山積しています。

このような事態を打開するため、漁業者の意識改革を図るとともに、漁業資源の増大を図るために、漁場造成や藻場の保全、種苗の放流の推進等に努めることが必要です。

また、水産加工を積極的に推進し、水産物に付加価値をつけるとともに、販路拡大により漁家所得の向上と雇用の拡大を図っていくことに加え、資源管理型漁業の推進により、安定した漁業経営を図り、漁協青年部、漁協女性部の活動支援と次代を担う後継者の確保・育成に努めることが課題です。

車えび養殖業は、平成5年度には生産量250t、販売額約17億円の日本一の企業に成長し、村活性化のシンボルとなりました。しかしながら、平成6年度に全国的に蔓延したウイルス病により生産量が大幅に減少し、業績が悪化しました。そのため、ウイルス病対策等に力を入れ、現在は回復傾向にあります。

商業は、村内の卸小売商店数は、平成14年の60店から平成26年では36店と24店の減少となっています。商店のほとんどが小規模店舗で経営者の高齢化等により、商品の品揃えや価格形成にも限界があります。

そのため、交通の利便性の向上などから、購買力の村外への流出が進み、また、通信販売等による購入も多く、村内の商店に大きな影響を及ぼしています。

今後は、購買力の流出対策や村内の消費喚起を図るため、商工会を中心に各商店が一体となった魅力ある地域商業の振興に努めることが必要です。

#### 就業者数の比較

(単位：人)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業他	合計
平成22年	272	151	552	975
平成27年	218	121	544	883
増減	△54	△30	△8	△92

(出典) 平成22年国勢調査、平成27年国勢調査

## 産業別類別

(単位：人、%)

	合計	農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業
就業者数	883	8	210	1	55	65
割合	100.0	0.9	23.8	0.1	6.2	7.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業郵便業	卸売業小売業	金融業保険業	不動産業物品賃貸業
就業者数	5	4	47	73	-	6
割合	0.6	0.5	5.3	8.3	0	0.7
	学術研究、専門・技術サービス	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業
就業者数	1	39	26	24	153	48
割合	0.1	4.4	3.0	2.7	17.3	5.4
	サービス業	公務	分類不能の産業			
就業者数	31	86	1			
割合	3.5	9.7	0.1			

(出典) 平成 27 年国勢調査

## 漁獲量、金額及び組合員数の推移

(単位：t、千円、人)

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
漁獲量	711	564	563	536	593
漁獲金額	626,230	556,324	651,739	586,318	597,748
組合員数	167	165	162	159	149

(出典) 大分県漁業姫島支店業務報告書

## 商店数、従業員数、販売額の推移

(単位：人、万円)

	平成 14 年	平成 16 年	平成 19 年	平成 24 年	平成 26 年
商店数	60	60	64	45	36
従業員数	196	188	177	111	92
年間販売額	224,716	181,025	158,374	68,280	74,700

(出典) 大分県統計年鑑

観光は、本村は、豊かな自然と国選択無形民俗文化財に指定されている「姫島盆踊」、国の天然記念物の「姫島の黒曜石産地」や、姫島の名前の由来であるお姫様にまつわる「姫島七不思議」等に代表される歴史、伝統文化あふれる「詩情と伝説の島」として、また、近年渡り蝶の「アサギマダラ」の休息地としても知られています。平成 25 年 9 月、これらの地質遺産、地域資源を活用した「おおいた姫島ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。

また、豊かな海の幸を活用して、姫島かいり祭や姫島車えび祭等の「イベント」を開催し、好評を博しています。

観光客数の推移

(単位：人、万円)

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
観 光 客 数	41,679	37,174	38,679	38,784	34,857
年 間 消 費 額	17,430	15,536	16,168	16,213	14,710

(出典) 大分県観光動態調査及び水産・観光商工課資料

本村の工業は、造船業、土木建築業、縫製業等があります。

しかし、長引く経済不況による景気低迷は、本村の産業にも重大なダメージを与え、特に工業は経営規模の縮小や見直しを余儀なくされています。

今後は、既存企業の経営基盤の充実、安定を図るとともに、本村の実情に適した企業誘致を推進し、就業機会の確保を図ることが必要です。

事業所数、従業員数、年間出荷額の推移

(単位：人、万円)

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
事 業 所 数	5	3	4	4	4
従 業 員 数	49	37	45	45	48
年 間 出 荷 額	7,597	8,696	7,656	7,903	8,316

(出典) 工業統計調査

本村の情報サービス業等は、地方創生拠点整備交付金を活用して「姫島 I T アイランド構想」のもと、「姫島 I T アイランドセンター」を整備し、平成 30 年 1 月から東京に本社を置く I T 企業 2 社が業務を開始しています。

今後は、情報基盤の一層の充実を図るとともに、多くの I T 企業の進出を目指して、村の活性化を目指します。

(2) 姫島村の産業振興を図る上での課題

農業については、耕作放棄地の解消を図ることが必要です。

林業については、水資源の涵養、魚つき林としての保護、育成のための森林の保全を図ります。

水産業は、漁業環境の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の高齢化、後継者不足等様々な問題が山積しています。このような事態を打開するため、漁業者の意識改革を図るとともに、漁業資源の増大を図るために、漁場造成や藻場の保全、種苗の放流の推進等に努めることが必要です。

車えび養殖業については、生産量増大のためウイルス病対策等に力を入れる必要があります。

商業は、購買力の流出対策や村内の消費喚起を図るため、商工会を中心に各商店が一体となった魅力ある地域商業の振興に努めることが必要です。

観光は、観光資源の更なる充実と積極的な P R が必要です。

工業は、既存企業の経営基盤の充実、安定を図るとともに、本村の実情に適した企業誘致を推進し、就業機会の確保を図ることが必要です。

情報サービス業等は、大分県と姫島村が一体となり、I T 関連企業の立地や移住促進に向けた受入体制の整備を進め、姫島村を「I T アイランド」としてブランディング化していきます。

ITアイランド構想の推進により、更なるIT関連企業の進出、雇用の場の確保による人口流入促進・流出抑制を図り、島民の所得の向上を目指していきます。

## 5. 産業振興の対象とする事業が属する業種

本計画における産業振興の対象となる業種は以下のとおりです。

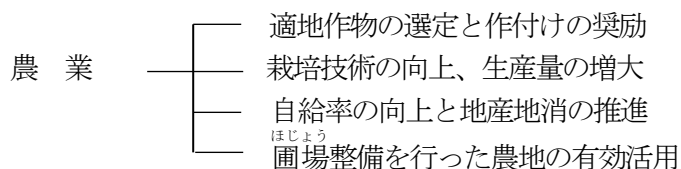
- ①農林業
- ②水産業
- ③製造業
- ④旅館業
- ⑤農林水産物等販売業
- ⑥情報サービス業等

## 6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

本村は、産業振興のため、関係団体と連携を密にして、事業者には設備投資に係る国税の租税特別措置の活用促進を働きかけ、離島振興対策実施地域の地方税課税免除を実施し、事業者の経済的負担の軽減に努めます。

### (1) 農 業

耕作放棄地対策に努めるとともに、地産地消等による食糧自給率の向上を図るため、野菜、ニンニク、玉ネギ、甘しょ等の作付けを奨励します。(姫島村、農業協同組合)



### (2) 林 業

森林保全対策については、松くい虫被害木の伐採駆除等による防除対策を実施し、水資源の<sup>かん</sup>涵養、魚つき林の保護、育成を図ります。(姫島村)

森林の保全 — 森林病虫害防除の推進

### (3) 水産業

本村の基幹産業である水産業振興のため、漁場造成や藻場保全、海底耕うん、藻類養殖の推進と漁業関連施設の整備、充実に努めます。

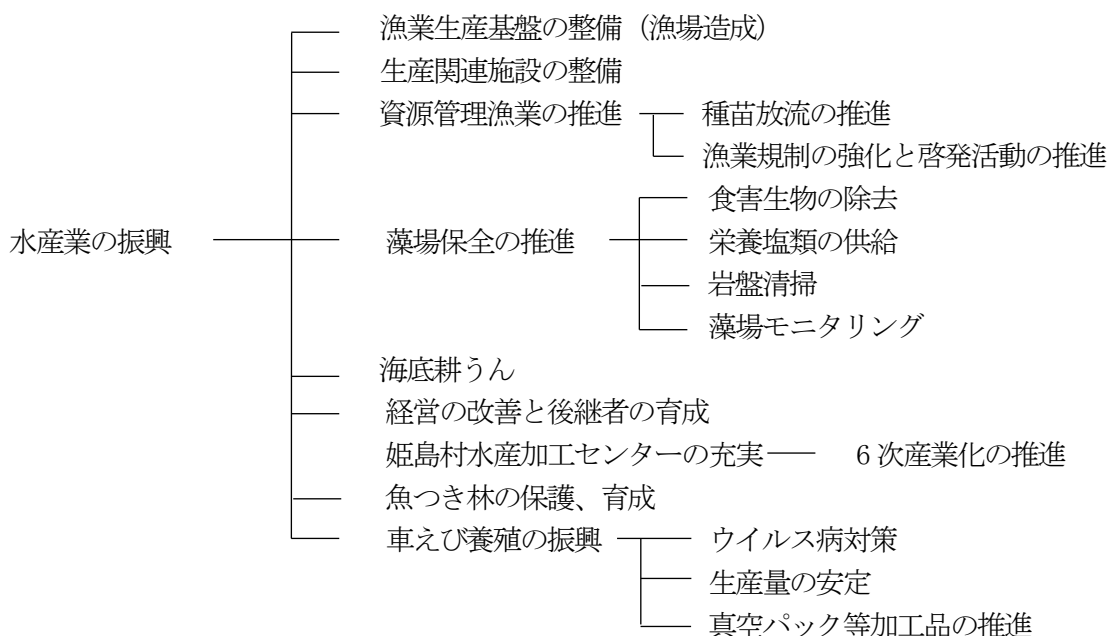
漁業者の意識改革を図り、地先資源の永続的な有効利用を達成するため、資源管理型漁業を推進するとともに、漁業後継者の確保・育成と漁協青年部、女性部の組織の強化を図ります。

また、水産物に付加価値を付け漁家所得の向上と雇用の拡大を図るため、姫島村水産加工セ

センターの充実を図るとともに6次産業化を推進します。

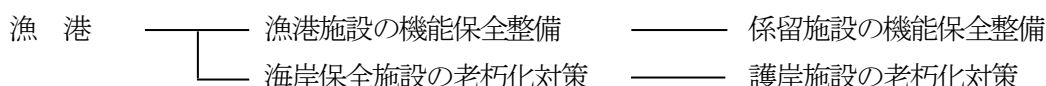
車えび養殖業については、ウイルス病対策に努め、生産の回復・増大を図るとともに、車えびの真空パックの高度化等、販売の多様化を図り、売上高の増大を目指します。

(姫島村、漁業協同組合、姫島車えび養殖株)



#### ア 漁 港

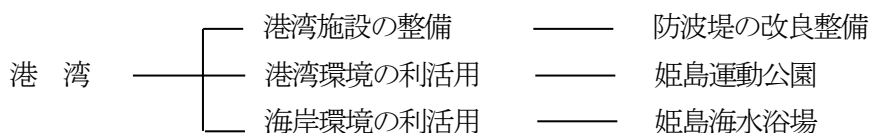
水産物供給基盤機能保全事業により、既存施設の長寿命化を図るための「機能保全計画」に基づき、保全整備を図ります。



#### イ 港 湾

村営フェリーが台風時でも安全に係留できる港湾施設改良統合補助事業を推進します。

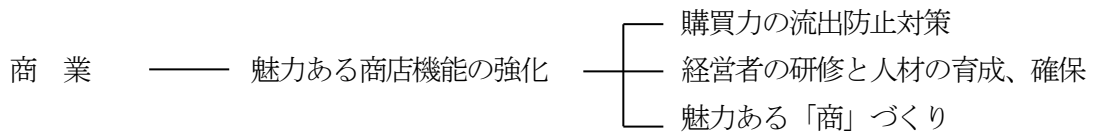
また、大規模災害時の住民避難・スポーツ交流の場としての姫島運動公園、姫島海水浴場の利活用を図ります。



#### (4) 商 業

村民の潤いのある豊かな日常生活の向上を図るため、魅力ある商店機能の強化に努めるとともに、商工会による指導体制づくりを図り、経営改善や研修等を推進します。

(姫島村、商工会)

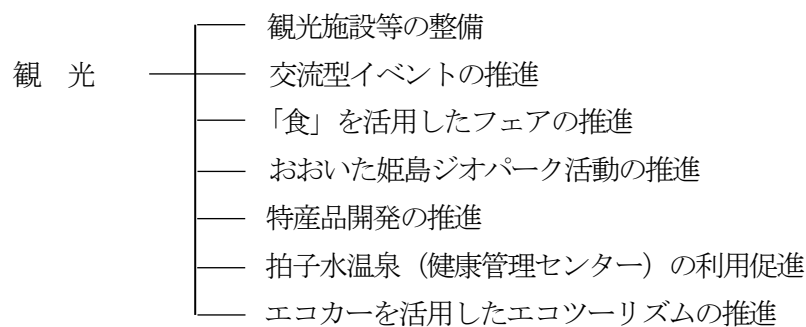


(5) 観光

「姫島かれい祭」「姫島車えび祭」など、交流型イベントと旅館の女将を中心とした姫島女将の会による「食のフェア」を推進するとともに「姫島七不思議」「姫島盆踊」など地域資源や伝統行事の活用を図ります。そして「おおいた姫島ジオパーク」活動の更なる充実による地域の活性化を目指してまいります。

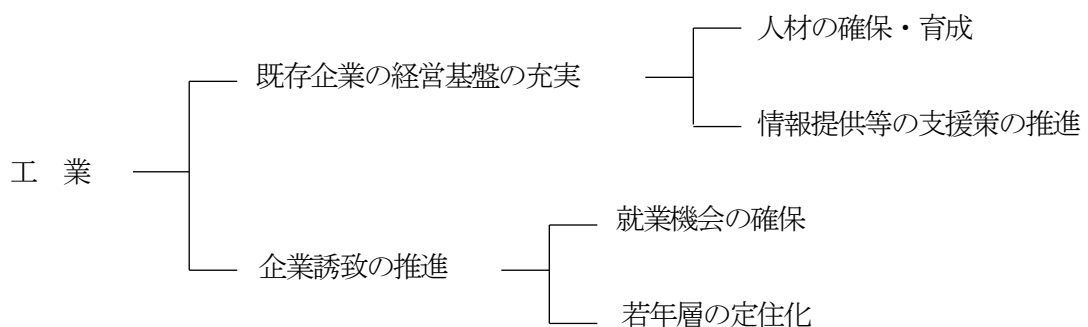
また、拍子水温泉（健康管理センター）や姫島海水浴場などの観光施設の利用促進を図るとともに特産品の開発など、水産加工グループや地域づくりグループとの連携による観光振興を図ります。

また、交通インフラとしての「エコカー（小型電気自動車）」等の環境にやさしい持続可能な地域づくり事業を推進します。（姫島村、商工会、姫島エコツーリズム推進協議会）



(6) 工業

既存企業の経営基盤の安定、強化と人材の育成、確保等に対する支援や新たな就業機会の創出につながる企業誘致を推進し、就業機会の確保を図ります。（姫島村）



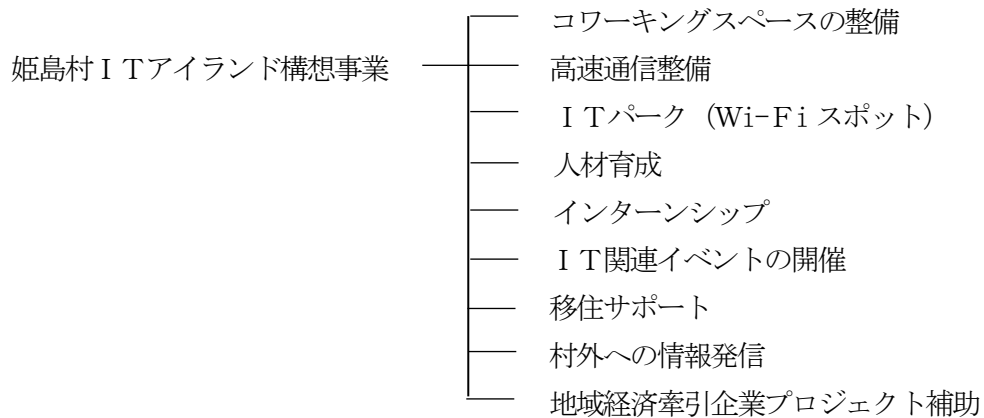
(7) 情報サービス業等

IT企業の誘致のための短期間のお試しワークなどが行えるコワーキングスペースや、「ITパーク」の設置、情報サービス基盤の一層の充実を目指したIT環境の整備を行うとともに、移住者の受入体制の整備や村外への情報発信、ITイベント開催等を通じて「ITアイランド」



としてのブランディング化を図ります。

また、島民のITリテラシーを向上し、進出企業等への就職を促進するとともに、進出企業が実施する地域経済牽引事業を支援することで、島外への人口流出の抑制、地域経済の活性化を図ります。(大分県、姫島村)



## 7. 計画の目標

本計画に係る計画期間中の計画目標は次のとおりです。

(離島振興対策実施地域)

業 種	指 標	内 容	目 標 件 数
農林業	設備投資件数	既存事業所の取得件数	1 件
水産業	設備投資件数	既存事業所の取得件数	1 件
製造業	設備投資件数	既存事業所の取得件数	1 件
旅館業	設備投資件数	既存事業所の取得件数	1 件
農林水産物等販売業	設備投資件数	既存事業所の取得件数	1 件
	新規雇用者数	規模拡張に伴う新規雇用者数	5 名
情報サービス業等	設備投資件数	既存事業所の取得件数	2 件
	新規雇用者数	企業進出・規模拡張に伴う新規雇用者数	21 名